

# 勾玉作りをしよう！

勾玉（まがたま）とは

日本各地で出土する。古代人が装飾用や祭祀用に作られたとみられる。縄文時代からあり、古墳時代にはとくに、このまれたらしい。硬玉・碧玉・メノウが多いが、ガラスや銅・石などもあり、土製のものは祭祀用とみられる。※「曲玉」とも書く。自然の家では柔らかく加工のしやすい「ろう石」を使用した勾玉作りを楽しんでいただけます。



## セット内容

- ・勾玉(穴あけ、半加工済み)×1
- ・サンドペーパー各種 ×5
- ・紐×1
- ・袋×1

## あると便利なもの

- ・作業台(新聞紙・レジャーシート)
- ・使い捨てマスク
- ・軍手

## 勾玉作り 指導のポイント

<設定時間>

約2時間(準備から片づけを含める)

<ねらい>

勾玉という日本古来の伝統文化に触れることにより、古代への想いを馳せたり、歴史への興味を誘う。石という身近な素材を使って装飾品を作り出す喜びを味わう

<展開方法>

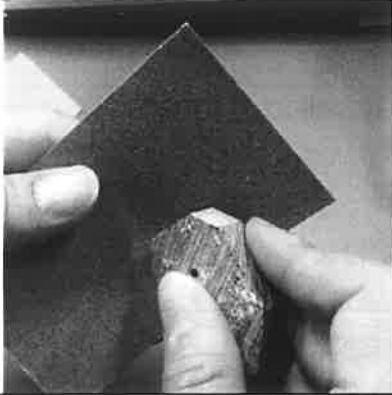
勾玉作成キットを一人ずつに分配し、指導者が全体の流れを説明し作業を行っていく。石を研磨する過程で大量の粉じんが舞う恐れがある為、マスクや軍手の装着などが必要。後片付けを楽にするためには、新聞紙などを下に敷いた状態での作業が望ましい。

<販売価格>

1セット 510円 キャンセル不可・買取のみ



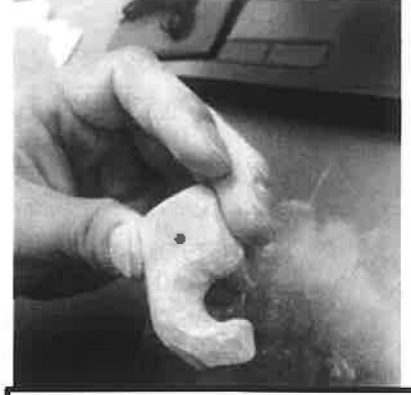
まがたま  
勾玉のつくりかた



①目のあらいヤスリで石の角を取っていきます



②けずりカスがとびちらないように気を付けながらけずっていきます



③図のように、全体の形がまるく見えるようになるまで、けずります



④ヤスリを目の細かいものに交換しながらどんどん丸くしていきます。



⑤さいごに水ヤスリでみがき、仕上げにトレーシングペーパーでこすり、ツヤをだし



⑥全体にツヤができればできあがりです！



⑦ひもを通せば、アクセサリとして使えます。  
これでキミも古代人だ！

作る時のポイント

- ・けずりカスがたかさんでるので下には新聞紙などをしいておこう
- ・あらい紙やすりで、だいたいの形を作っておくと作りやすいぞ

